

進路指導室から 第350号

はじめに

新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いたします。今年も、いろいろな機会を通して、生徒たちと喜怒哀楽を共有することができたらと思っています。

さて、12月24日（金）に、文部科学省が各大学等に対して、新型コロナウイルス感染症のうち「オミクロン株」の濃厚接触者については別室での受験を認めず、追試験での対応を求めるガイドラインを通知したことが伝えられました。しかし、その後この方針が変更され、自治体のPCR検査などで陰性が証明され、受験当日も無症状で、公共交通機関の利用を避けて来場できるとの要件を満たした場合は、別室での受験が認められることになりました。受験機会の確保に向けたこの措置に少し安堵しましたが、ここ最近、「オミクロン株」が全国的に拡大していることが気になります。

「令和4年度大学入学者選抜での新型コロナウイルス感染症対策に伴う個別学力検査の追試等の対応

状況」について

12月24日（金）に、文部科学省は「令和4年度大学入学者選抜での新型コロナウイルス感染症対策に伴う個別学力検査の追試等の対応状況」について公表しました。

調査結果から、ほとんどの大学等で、「追試または追加の受験料を徴収せずに別日程への受験の振替を実施」した対応が行われます。また、多くの国公立大学で「追試験を実施」による対応が行われる予定ですが、私立大学では4割程度にとどまっています。一方、私立大学で「追加の受験料を徴収せずに、別日程への受験の振替を実施」と「追試験と振替を両方実施」による対応の割合が高くなっています。

〔令和4年度大学入学者選抜での新型コロナウイルス感染症対策に伴う個別学力検査の追試等の対応状況〕

	全体 (1058学)	国立大学 (81大学)	公立大学 (92大学)	私立大学 (597大学)	公立短期大学 (12大学)	私立短期大学 (276大学)
追試または追加の受験料を徴収せずに別日程への受験の振替を実施 (①又は②)	1047大学 (99.0%)	80大学 (98.8%)	90大学 (97.8%)	590大学 (98.8%)	12大学 (100.0%)	275大学 (99.6%)
追試験を実施 (①)	565大学 (53.4%)	79大学 (97.5%)	89大学 (96.7%)	238大学 (39.9%)	11大学 (91.7%)	148大学 (53.6%)
追加の受験料を徴収せずに、別日程への受験の振替を実施 (②)	816大学 (77.1%)	4大学 (4.9%)	10大学 (10.9%)	535大学 (89.6%)	5大学 (41.7%)	262大学 (94.9%)
追試験と振替を両方実施 (①と②の内数)	334大学 (31.6%)	3大学 (3.7%)	9大学 (9.8%)	183大学 (30.7%)	4大学 (33.3%)	135大学 (48.9%)
その他	9大学 (0.9%)	1大学 (1.2%)	2大学 (2.2%)	5大学 (0.8%)	0大学 (0.0%)	1大学 (0.4%)
対応なし	2大学 (0.2%)	0大学 (0.0%)	0大学 (0.0%)	2大学 (0.3%)	0大学 (0.0%)	0大学 (0.0%)

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

※ 大学入学共通テストの成績及び出願書類等による再選抜を行う場合も追試験に含む。

※ 「その他」には、数日間の実技検査を課すなど、追試験を設定することが困難である大学や受験料の返還を行う大学を計上してる。

「授業ノートのとり方」について

「高校生新聞ONLINE」に「成績が上がる授業ノート術6選 デキる高校生は板書丸写しをしていなかった」と題した記事が掲載されていました。板書内容だけでなく、自分なりの工夫の跡が見えるノートのとり方になっています。

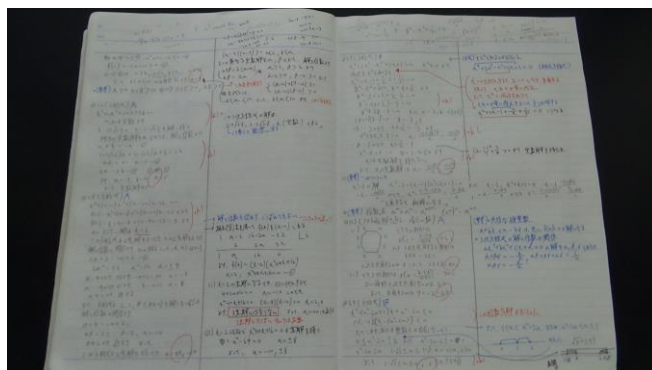
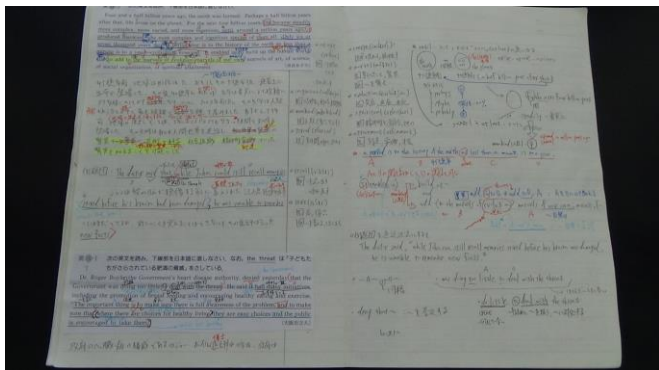
□ 色をあまり使わないよう心がけています。授業用ノートはメモとして考えているので、「後から見返して読めるか」という点でしか気をつけていません。授業用ノートを元に、見やすい復習用ノートを作っています。説明は教科書に書いてあるので、図解を優先しています。

- 特に数学などの教科では、間違っただけの計算過程をなるべく消さないで、斜線を引くなど工夫しています。間違えてしまった式を残しておくことで、何で間違えたのか、どこをどのように計算したらいいのか発見することができます。
- 色ペンを使いまとめています。テスト前に見返したとき、色が合った方がかわいくて勉強のやる気が出るからです。色を適度に使うのもポイントです。あまり使いすぎると大事なところがわからなくなってしまう。例えば、先生が言っていた大事なところはピンクマーカーを使います。
- 以前はカラフルにノートを取っていましたが、色を使いすぎるとどこが大切なのがわからなくなったり、色ペンを持ち替えているうちに授業が進んでしまったりしていたので、カラーペンはピンクだけ使うようにしました。
- 普段は、授業プリントに書き込みをして、復習の授業時にノートをとるようにしています。大まかな要点を書いて、ノートを見てもわからなかったときには授業プリントに戻るようにしています。
- 黒板に書いてあるものだけを写すのではなく、なるべく先生が口頭で言ったポイントなどもノートに取るようにしています。復習するときに授業で学んだことの背景なども思い出すことができるからです。夢中になって板書を写すのではなく、先生が話しているときは手を止めて聞くように注意しています。テスト前にとっても助かりますよ。
- 苦手な古典のノート作りを工夫しています。大事なのは「凝りすぎない」こと！前は授業中の文法解説を聞いて、ノートに写すスタイルでした。品詞ごとに色を決め、きれいに書くことを意識していたのですが、授業内容が頭に入ってこず、試行錯誤した結果、今のノートに落ち着きました。
まず、授業前に授業で扱う本文をノートに書き写して品詞分解をし、下に現代語訳を書いておきます。この予習がすごく大事！授業中は先生の文法解説を聞きながら、自分の品詞分解で間違っていたところにオレンジのマーカーを引きます。黄色のマーカーは先生が大事だと言った単語、他の解説は目立つようにピンクで書き込んでいます。全部黒で品詞分解を試みた時期もあったのですが、ごちゃごちゃして分かりにくいし、動詞がぱっと見で分かったほうが文章の意味がわかりやすいと感じたので、品詞の色分けは予習でやり、授業に集中できるようにしました。
テスト前は、ピンクのペンとオレンジのマーカーを中心に復習します。大事なところがすぐに分かるこのノートの取り方は本当におすすめです！

なお、以下のノートは、私がかつてクラス担任をしていた生徒で、東京大学に進学した卒業生が残してくれたものです。

〔英語（英語講読）〕

〔数学（課題用）〕



左は「英語」、右は「数学」のノートです。

「英語」については、3色の筆記用具を使っています。「赤」は「主語などS, V, O, Cの分類」、「青」と「黒」は「語句の意味や代名詞などの補足」です。和訳は一行を空けてまとめています。また、構文の捉え方が違うなど、大きな間違いがあった箇所は蛍光ペンで本文と和訳にマークしています。

「数学」は、問題によって「A」、「B」、「C」、「D」に分類しています。このうち、「A」は「自力で解いた」、「B」は「チャート等で解いた」、「C」は「解答を見て理解した」、「D」は「解答を見ても分からなかった」です。

彼が残してくれたノートを見ながら、当時のことを少し思い出しました。彼は優しい人柄で、クラスの誰からも愛され信頼されていました。級友たちも勉強で分からないことがあれば、まずは彼に教えてもらっていたようで、彼は、「…先生」と呼ばれていました。

終わりに

大学入学共通テストが近づいてきました。試験の時間帯にしっかりと力を出し切ることができるよう、日々の生活を意識することが求められます。
(文責：進路指導部 池本 邦彦)